令和7年度　宮崎市LINEアンケート

図書館の利用と読書活動に関するアンケート調査　集計結果

◆　調査の目的

市民の図書館利用の状況や読書活動の現状を把握し、今後、図書館サービスの見直しや読書推進等の事業の参考とするため。

◆　調査の概要

（１）　調査期間　　令和7年11月15日～令和7年11月30日

（２）　モニター数　　1,933人

（３）　有効回答数　　1,933人（回答率　100%）

（４）　担当課　　教育委員会　生涯学習課

◆　調査結果考察

【回答者について：問1～問3】

アンケートに協力いただいた年代は、60代以上が42.%を占め、続いて50代が約26%との結果となった。

男女の割合は、男性が31%、女性が67%の回答であった。（「回答しない」が2%）

【図書館・図書室の利用状況について：問４～問6、問8】

図書館を利用したことがある人の割合は85%であった。その中で、よく利用する図書館は「宮崎市立図書館」が63%、「佐土原図書館」が11%、「交流センター等の図書室」が8%の順で多かった。その他、県立図書館、他自治体の図書館を利用しているという回答も多かった。

また、図書館の利用頻度は「年に数回」が53%で一番多く、続いて「月に数回」が30%となった。図書館を利用したことがない人の理由で最も多かったのは、「自宅から遠い」が34%と一番多く、次に「時間がない」「図書館以外の読書のツールを利用している（本を購入、インターネットサービスを利用している）」がほぼ同率（約26%）であった。「読書に興味がない、本を読まない」という回答も23%を占めた。

【図書館・図書室のニーズについて：問7、問9】

図書館を利用する目的の中で一番多かったのは「本の貸出」（70%）、続いて「本の閲覧（館内利用）」（45%）、「自習・学習スペースの利用」（16%）の順となった。その他「イベント・講座への参加」（9%）「予約・配本サービス」（８%）となった。また、市民が図書館・図書室に求めるサービス・環境については「カフェ併設など、飲食ができるスペースの設置」を求める声が一番多く、続いて「多様なジャンルの本が充実している」「いつでも本が手に取れる（電子図書館の充実、24時間利用可能なサービス）。」が多かった。

【読書習慣について：問10～問13】

1日平均の読書時間についてたずねたところ、30分以上の人が56%、30分未満が33%、全く読まない人が11%という結果であった。

本の入手方法では「書店で購入、インターネットで購入」が合わせて52%、「図書館で借りる」が20%であった。

普段本をよく読む場所で多かったのは「自宅」（81%）が圧倒的に多く、「学校・職場」「カフェ」はそれぞれ３～４%程度であった。

本を全く読まない理由で多かったのは「読書をする時間がない」（46%）が最も多く、「読書以外のエンタメ（スポーツ、ゲーム）が楽しい」（24%）「活字を読むのがつらい」（21%）と続いた。「読書が好きではない・本を読まなくても困らない」という回答もそれぞれ17%程度の割合で回答があった。

◆　調査結果まとめ

調査の結果、市民の約9割に読書習慣がある一方、多忙さや図書館へのアクセスの不便さから図書館利用は「年数回」に留まり、本の入手は「購入」が主流である実態が明らかになった。

図書館・図書施設への意見として、本の充実や静かな閲覧スペースといった『図書館本来の役割』への要望がある一方で、カフェの併設やイベント開催など、「快適さ」や「交流」といった『貸出以外の機能』を求める声もあり、図書館に対して多様なニーズがあることが明らかになった。魅力的な図書館のモデルとして他市の事例を挙げている人も多かった。

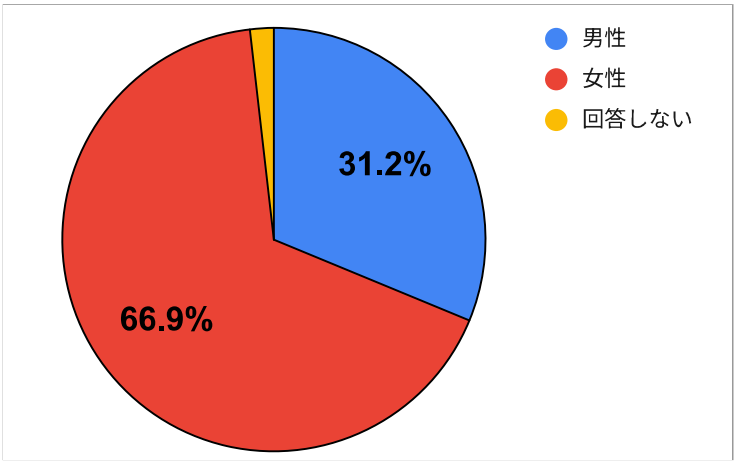
今回のアンケートでいたいたご意見を参考に、誰もが読書を身近に楽しめる環境づくりや、図書館サービスの見直し、改善等を検討していきたい。

◎　調査結果

★　回答者について

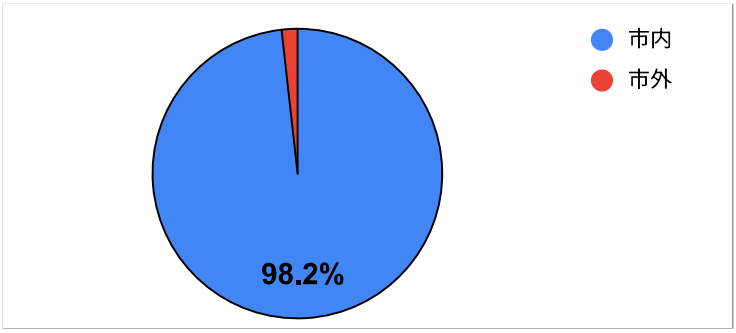
問１．　性別

選択肢	回答数	割合
男性	604	31.2%
女性	1,294	66.9%
回答しない	35	1.8%
	1,933	100.0%



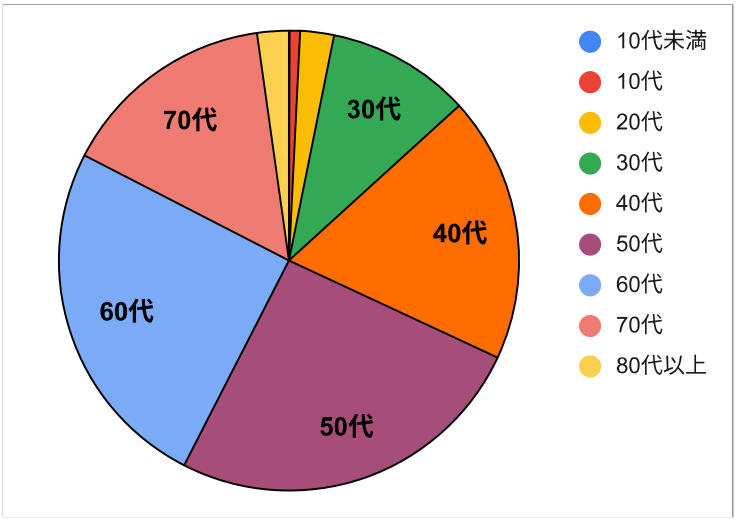
問２　居住地

選択肢	回答数	割合
市内	1,899	98.2%
市外	34	1.8%
	1,933	100.0%



問３　年代

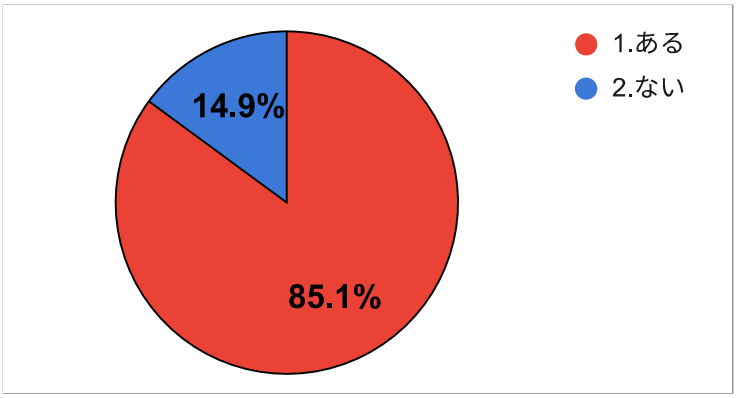
選択肢	回答数	構成比
10代未満	1	0.1%
10代	14	0.7%
20代	46	2.4%
30代	195	10.1%
40代	361	18.7%
50代	495	25.6%
60代	484	25.0%
70代	294	15.2%
80代以上	43	2.2%
	1,933	100.0%



★　図書館・図書室の利用状況とニーズについて

問４　あなたは図書館・図書室を利用したことがありますか。

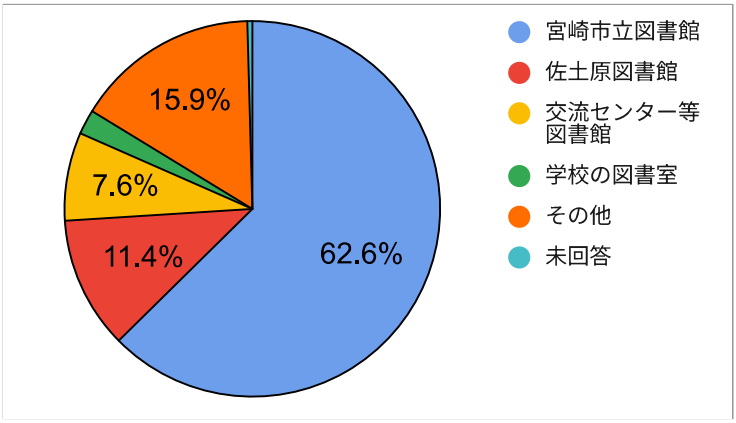
選択肢	回答数	割合
1.ある	1,645	85.1%
2.ない	288	14.9%
	1,933	100.0%



問５　普段よく利用する図書館・図書室について

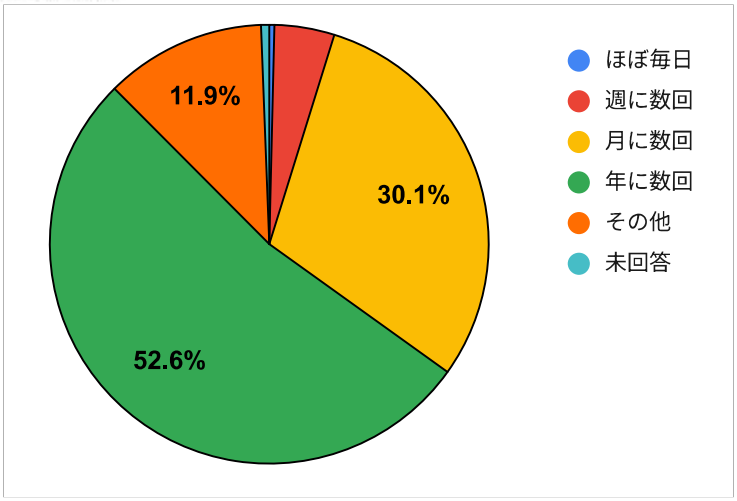
選択肢	回答数	割合
宮崎市立図書館	1,030	62.6%
佐土原図書館	187	11.4%
交流センター等図書館	125	7.6%
学校の図書室	35	2.1%
その他	261	15.9%
未回答	7	0.4%
	1,645	100.0%

【その他のご意見（一部抜粋）】
・県立図書館
・その他自治体の図書館
・清武文化会館内図書室　など



問６　どのくらいの頻度で図書館・図書室を利用しますか

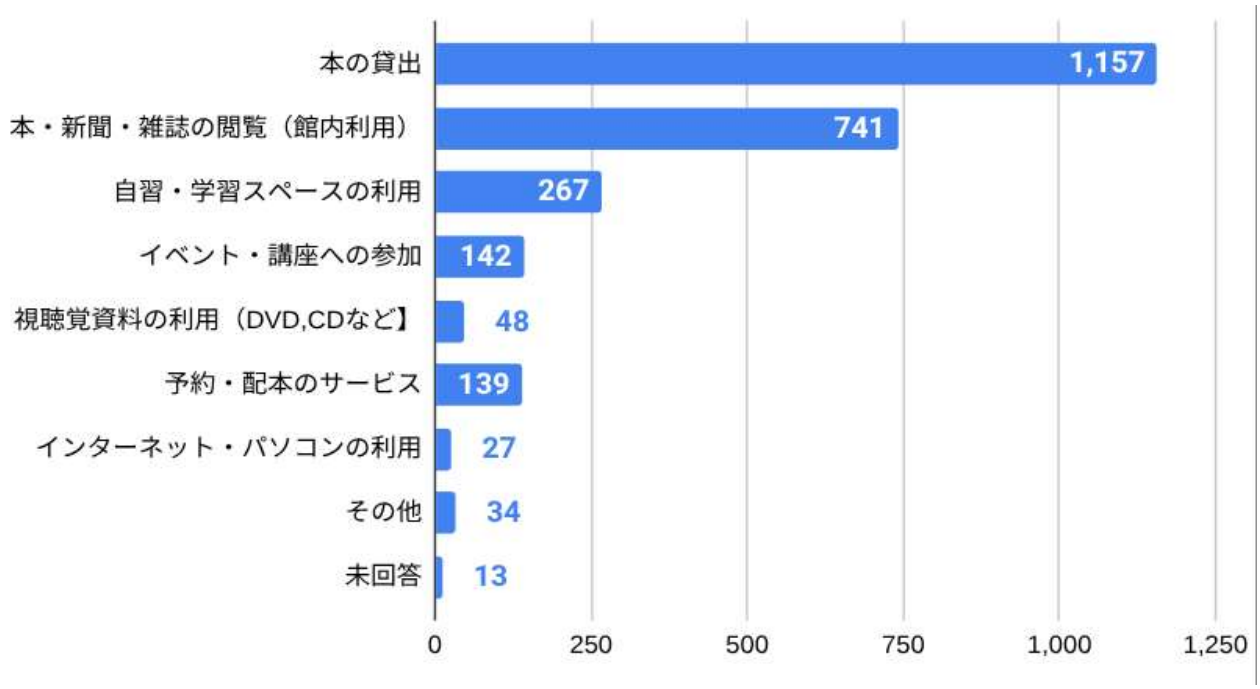
選択肢	回答数	割合
ほぼ毎日	6	0.4%
週に数回	73	4.4%
月に数回	495	30.1%
年に数回	866	52.6%
その他	195	11.9%
未回答	10	0.6%
	1,645	100.0%



問７　どのような目的で図書館・図書室を利用しますか（複数回答）

選択肢	回答数	割合
本の貸出	1,157	70.3%
本・新聞・雑誌の閲覧（館内利用）	741	45.0%
自習・学習スペースの利用	267	16.2%
イベント・講座への参加	142	8.6%
視聴覚資料の利用（DVD,CDなど）	48	2.9%
予約・配本のサービス	139	8.4%
インターネット・パソコンの利用	27	1.6%
その他	34	2.1%
未回答	13	0.8%
	2,568	

【その他のご意見（一部抜粋）】
・子どもの付き添い、読み聞かせ
・時間つぶし
・仕事や勉強で調べ物や情報収集をする

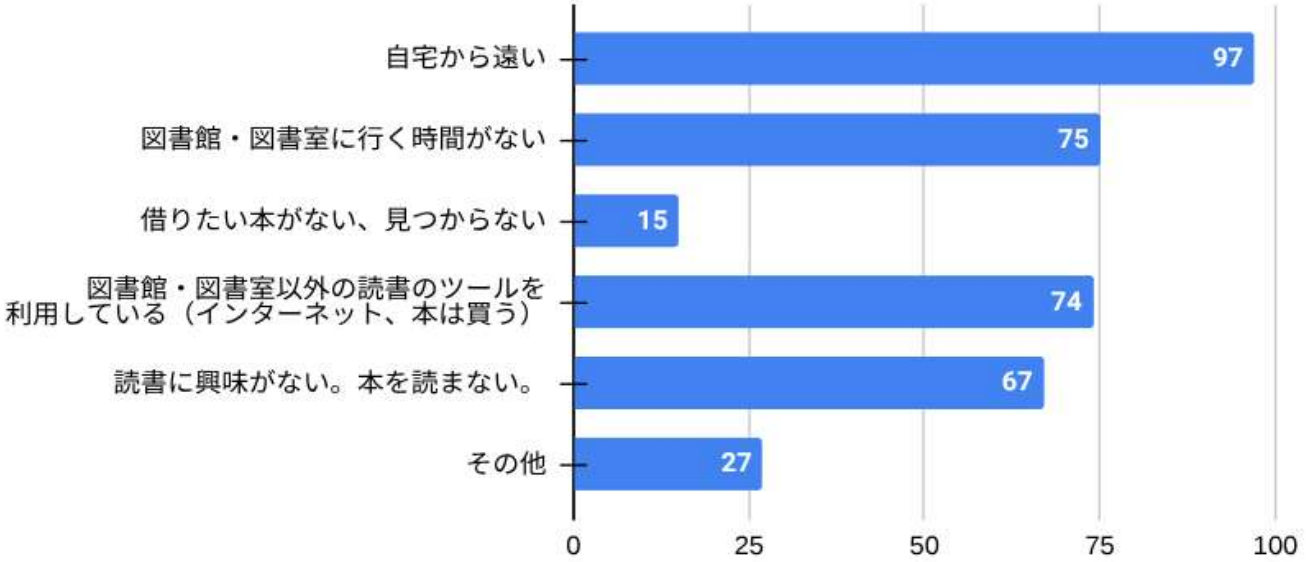


（「図書館を利用したことがない」と回答した人に対する質問）

問８　図書館を利用しない理由は（複数選択）

選択肢	回答数	割合
自宅から遠い	97	33.7%
図書館・図書室に行く時間がない	75	26.0%
借りたい本がない、見つからない	15	5.2%
図書館・図書室以外の読書のツールを利用している（インターネット、本は買う）	74	25.7%
読書に興味がない。本を読まない。	67	23.3%
その他	27	9.4%
	355	

【その他のご意見（一部抜粋）】
・活字を読むのがつらい
・利用方法がわからない
・0歳児がいるので騒いでは申し訳ないため行けない

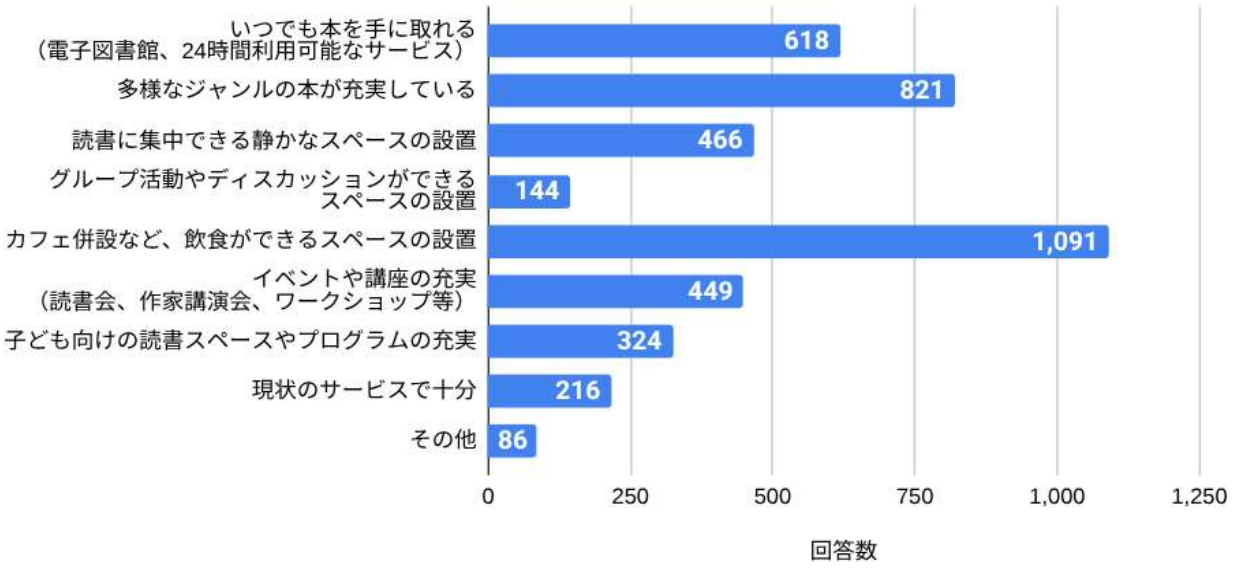


問９　どのような読書環境やサービスがあればもっと本を読みたい、図書館・図書室を利用したいと感じますか。（複数回答）

選択肢	回答数	割合
いつでも本を手に取れる（電子図書館、24時間利用可能なサービス）	618	32.0%
多様なジャンルの本が充実している	821	42.5%
読書に集中できる静かなスペースの設置	466	24.1%
グループ活動やディスカッションができるスペースの設置	144	7.4%
カフェ併設など、飲食ができるスペースの設置	1,091	56.4%
イベントや講座の充実（読書会、作家講演会、ワークショップ等）	449	23.2%
子ども向けの読書スペースやプログラムの充実	324	16.8%
現状のサービスで十分	216	11.2%
その他	86	4.4%
	4,215	

【その他のご意見（一部抜粋）】
・学習・作業スペースの拡充
・開館時間の拡充、貸出期間の延長、返却場所　の増加
・利用カードの電子化（スマホ対応）、利用カード更新手続きの簡素化
・立地やアクセスに関する意見

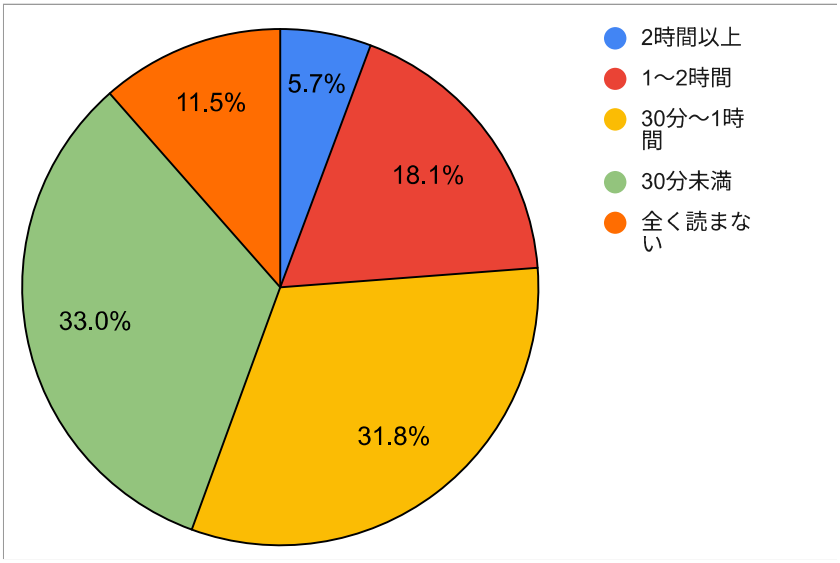
・赤ちゃん連れでも利用しやすい環境の整備
・静かに過ごす場所、交流できる憩いの場所を分ける空間設計の要望
・図書館の情報発信、イベントの案内などの周知の充実



★　読書習慣について

問１０　あなたは1日平均でどれくらい読書をしますか

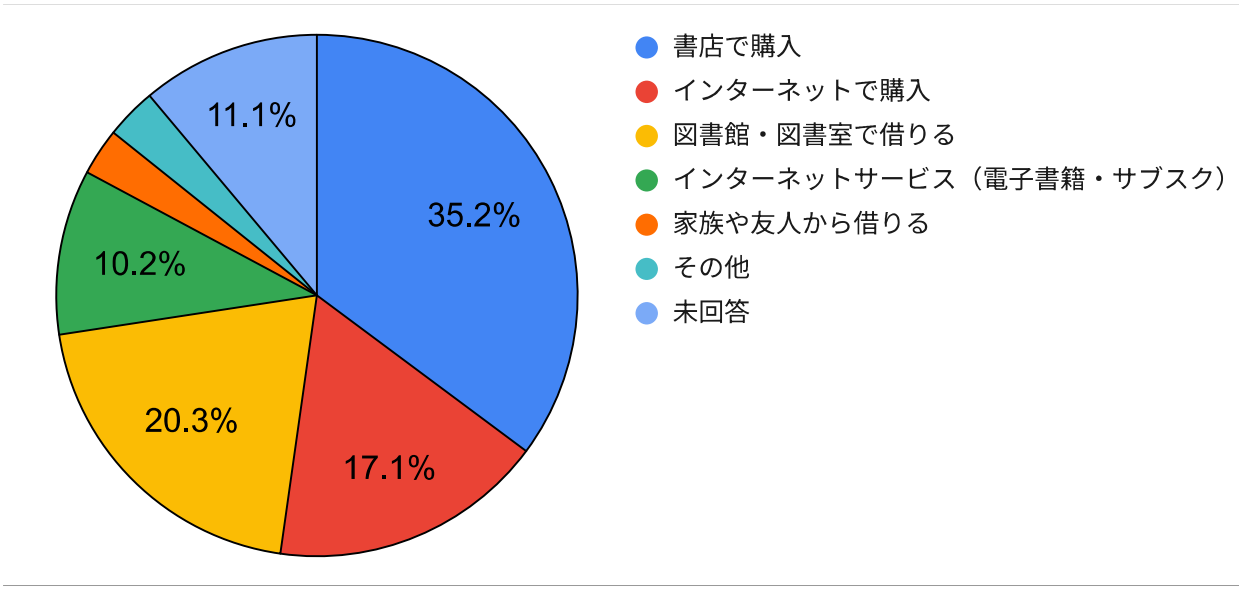
選択肢	回答数	割合
2時間以上	110	5.7%
1～2時間	350	18.1%
30分～1時間	614	31.8%
30分未満	637	33.0%
全く読まない	222	11.5%
	1,933	100.0%



問１１　主にどのような方法で本を入手しますか

選択肢	回答数	割合
書店で購入	602	35.2%
インターネットで購入	292	17.1%
図書館・図書室で借りる	348	20.3%
インターネットサービス（電子書籍・サブスク）	175	10.2%
家族や友人から借りる	50	2.9%
その他	54	3.2%
未回答	190	11.1%
	1,711	100.0%

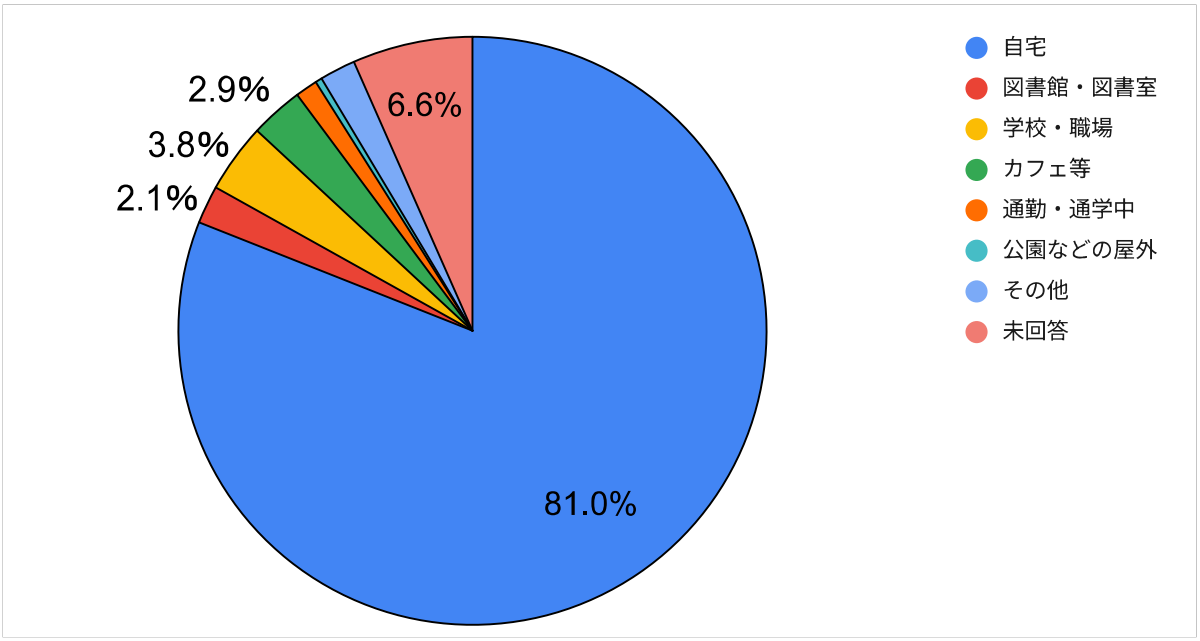
【その他のご意見（一部抜粋）】
・定期購読
・リサイクル点で購入
・銀行や美容室等で閲覧
・デジタルメディアでの情報収集



問１２　主にどこで本を読みますか

選択肢	回答数	割合
自宅	1,386	81.0%
図書館・図書室	36	2.1%
学校・職場	65	3.8%
カフェ等	50	2.9%
通勤・通学中	21	1.2%
公園などの屋外	6	0.4%
その他	34	2.0%
未回答	113	6.6%
	1,711	100.0%

【その他のご意見（一部抜粋）】
・病院や子供の習い事の待ち時間
・飛行機やバスなど交通機関での移動中
・空き時間ができたら場所はどこでもいい

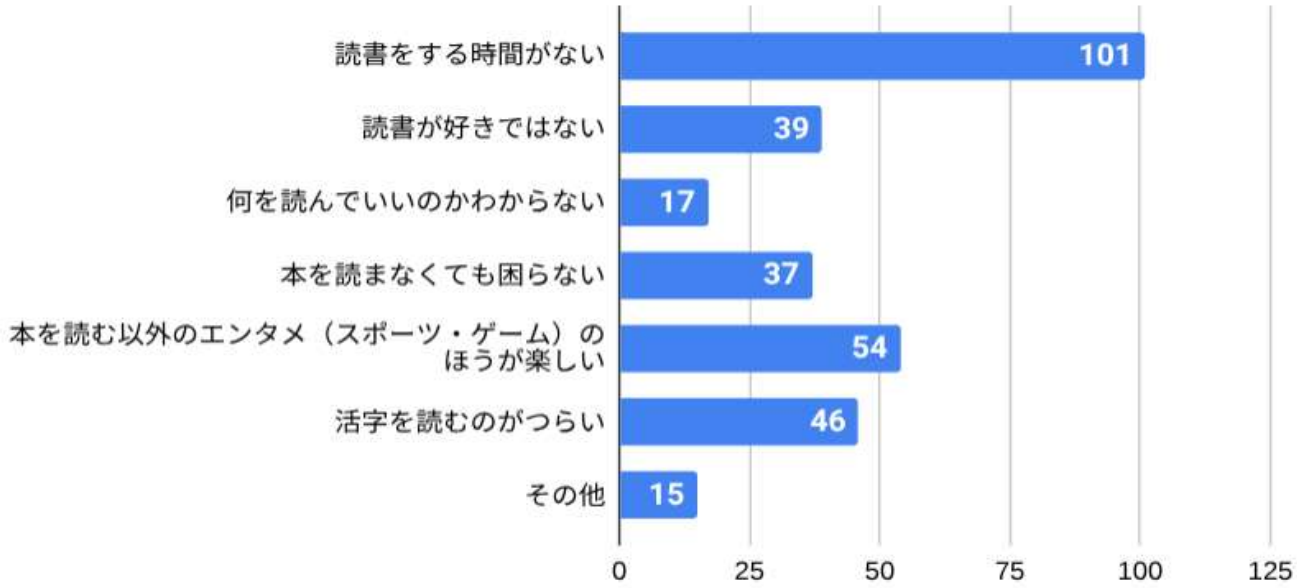


(「全く本を読まない」と回答した人に対する質問)

問１３　読書をしない理由はどれに当てはまりますか（複数回答）

選択肢	回答数	割合
読書をする時間がない	101	45.5%
読書が好きではない	39	17.6%
何を読んでいいのかわからない	17	7.7%
本を読まなくても困らない	37	16.7%
本を読む以外のエンタメ（スポーツ・ゲーム）のほうが楽しい	54	24.3%
活字を読むのがつらい	46	20.7%
その他	15	6.8%
	309	

【その他のご意見（一部抜粋）】
・知りたいことはインターネットで調べる
・スマホをつい見てしまう



問１４　その他、図書館や読書に関する自由意見について

◯ 良い点（評価されている点）

1. **配本サービスの利便性と感謝**
   - 地区交流センター（公民館）への配本・返却サービスが、自宅から遠い利用者や多忙な現役世代にとって重宝されている。
2. **職員の創意工夫**
   - 本のレイアウト、特集コーナーの設置、本の帯を活用した紹介などが新たな本との出会いを作っている。
3. **子育て・生涯学習の拠点としての役割**
   - 読み聞かせや子供の読書習慣の定着、高齢者の豊かな老後の過ごし方として、図書館が生活に不可欠な場所（サードプレイス）として機能している。

◯ 改善点・要望

1. **「滞在型」設備（カフェ・飲食・Wi-Fi）の不足**
   - カフェの併設や、コーヒーを飲みながら読書できるスペース、ソファやリクライニング席など、長時間リラックスして滞在できる環境への要望が多い。
2. **学習スペースの不足とゾーニングの未整備**
   - 学生による席の占領で大人が座れない問題や、静かに過ごしたい人と会話を楽しみたい人（親子連れ等）のスペース分け（ゾーニング）が不十分である。
3. **駐車場・アクセスおよび物理的環境の不備**
   - 本館の駐車場が遠い・狭い・混雑している点や、施設の老朽化（椅子が壊れそう）、トイレの利便性（荷物置き場）、空調管理など、ハード面への不満。
4. **蔵書・システムの利便性向上**
   - 新刊・人気本の予約待ちの長さ、専門書やコミック等のラインナップ拡充、Web予約システムの使いにくさ、電子図書館のコンテンツ不足など、ソフト面の改善。

◯その他のご意見

1.「都城市立図書館」という明確な比較対象

- 多くの市民より、都城市立図書館のようなおしゃれで賑わいのある、カフェ併設の図書館にしてほしいという声があった。

2. 管理的な雰囲気への苦言（「静かに」の強要）

- 「注意書きの張り紙が多すぎて息苦しい」「職員の私語は多いのに利用者には厳しい」といった、図書館の空気感に対する指摘があり。

3.「静寂」と「交流」の共存への渇望

- 従来通りの静かな環境を求める声と、会話やワークショップができる賑わいの場を求める声が混在していた。単に騒がしくするのではなく、「会話が許容されるエリア」も必要との声あり。